



早く、君たちの顔を見たかった。

1ヶ月ぶりのお便りになってしまいました。年度始め早々、病気を患いまして、入院・療養することになりました。皆様にはご迷惑とご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。幸いにも症状は軽く、先週無事に復帰することができました。

復帰日の全校集会での言葉、それが「早く、君たちの顔を見たかった。」でした。不思議なもので、元気に働いているときは、『早く、休みにならんかなあ』と考えるのに、いざ学校にいけなくなると、『早く、復帰したい』『働きたい』と考え、学校のこと・子どもたちのことが気になって気になって・・・。

運動場で仲良く楽しそうに遊んでいる姿を校長室から眺められることの喜び、授業で頑張っている姿を観られるうれしさ、子どもたちと笑って話すことができる楽しさ、そうした日常の中で、当たり前に過ごせることの「幸せ」を改めて感じたものです。子どもたちと共にいることが私の「幸せ」なのです。だからこそ、「顔を見たかった」という言葉が心から湧き出てきました。この幸せのために、頑張ります！

和
氣
香
風

人は経験によって育つ～壁を乗り越えた先に～

運動会（5月24日）が目前に迫ってきました。今年度のスローガンは、「心を一つに 笑顔あふれる運動会」です。

このスローガンのもと、今まで練習を頑張ってきた子どもたちです。本番では、その頑張りが表れた姿を、しっかり観てやってください。

子どもたちの代表として、企画委員会及び応援団の代表に、ランチミーティングをしながらインタビューをしました。内容は、①運動会にかける思い、②難しいと感じること、③困難を解決する手立て、④自分が感じている成長の四つです。

○小学校最後の運動会を盛り上げたい。一番思い出に残る運動会、楽しくて後悔しない運動会にしたい。

○新1年生や他学年と仲良くなって、みんなが笑顔で終われる運動会にしたい。

○たくさんの人を「まとめる」ことって本当に難しい。

○大きな声を出して、みんなにわかるように説明しようと思うけど、なかなか伝わらない。説明が難しい。

○どうやったら伝わり、まとまるのかと考えてしまう。

○次どうするかを考えてなくて、事が進まず、このままで間に合うのか？と心配になる。

まず、自分が家でしっかり練習すること。そして、みんなで集まって、話し合って、事前準備をしっかりすることが大事。

○人任せにしないことを心がけるようになった。自分が何もしないことは、これも人任せにすることと同じ。自分で行動することの大さを学んだ。

○助け合いが増えた。前は、悩んでいる人を放ったらかしにしていた面もあったと思う。今は、「どうしたの？」と声をかけて、自分たちで話し合える。だから、自信がついた。仲間がいるから助け合える。一人で悩まなくとも、一緒に行動してくれる人がいる。



○大きな声を出して人に伝える勇気がなかった。みんなが一つの輪になって、安心した。思っていることを思っているだけじゃなく、行動に移したい。

○自分はみんなの前で自信を持って、大きな声を出せていらないと思う。話を始めると、内容がわからなくなってしまう。みんなの前で堂々と言えるようになりたい。

